

当社クライアントのネット活用の方針

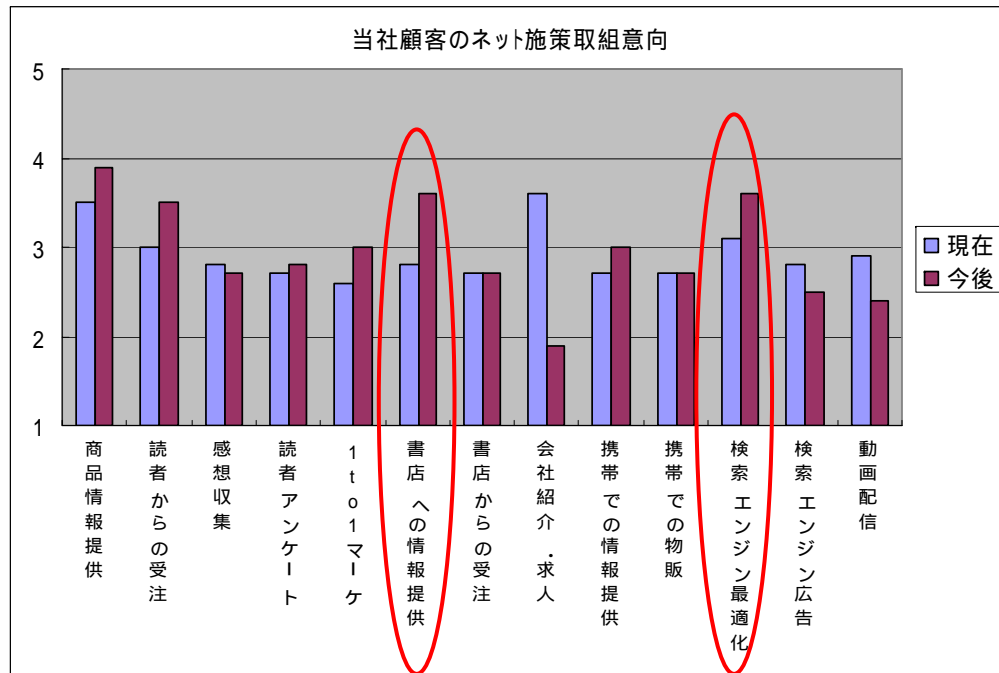
現状と今後のギャップが大きいものを抽出

■ 「書店への情報提供」が1番目

- 最大手の書店向けネット受注サイトの加盟店が約1万4千店（昨年夏時点）で、ほとんどの書店がネットにつながる端末を持っていることを意味します。
- ネットでの情報提供の重要性は増していると考えられているようです。

■ 2番目に「検索エンジン最適化」

- 当社調査ではYahoo!やGoogleなどからの来訪は概ね50%、多いと70%を越えています。
- 具体的な商品ページへ直接来訪するケースが多く、しかも検索キーワードも書名・誌名・著者名など以外であることも多く、潜在読者にリーチする機会と認識されているようです。



2007年10月実施のお客様アンケートより
30社に送付し25社より回収したものを集計

個別目標の達成度と今後の重点目標
(現在 5:大変満足している 4:満足している 3:どちらとも言えない 2:あまり満足していない 1:まったく満足していない)
(今後 5:直ちに強化 4:少しずつ強化 3:条件合えば強化 2:強化するつもりなし 1:特に考えていない)